読者のみなさんでつくる みんなの広場

「身近な出来事やイラスト」「テーマトーク」募集中！

おいしいものを豊かに食べたい

年を取るごとに味覚が変わってくる。懐かしい味が恋しくなる。たくさんガツガツ食べるより、普段食べられない貴重な食べ物を一口食べ、生きていることの尊さを感じていたくなる。いつまでもおいしいものを食べ、健康に過ごしていきたい。

白山市 すぶちゃん

8匹の神猫

私が帰ってくるとどこからともなく集まってくる猫たち。エンジンの音や車の形で私と分かるようでそれが何とも愛おしい。先日の大雪でもいつもと同じお出迎え。体の高さ以上に積もった雪をかき分けて私に会いに寄ってくる姿に1日の疲れが癒やされ寒くても心は温かくなったよ。ありがとう!!

穴水町 おは

金沢市 かぶ

雪の中温まる

久しぶりの大雪で雪かきをしていると、公園で左義長をやっているようで近所の方たちが雪の中、お飾りを手に公園へ。大変な雪の中、みんな声を掛け合いお互いに身体をいたわり合ううちに心が温まった瞬間でした。新型コロナウイルスで暗い1年のスタートですが、周りの人と声を掛け合い協力しながら少しでも明るく過ごしたいものですね。

内灘町 バーバラ

家族でチャレンジ

新型コロナウイルスのせいか、もともとの食い意地のせいか…家族そろってコロコロ体型に磨きがかかってしまったわが家。慌てて、なんちゃって糖質オフにチャレンジ！旦那と子どもはめきめき効果が出てるのに、私だけワガママボディーをキープ…悲しい。早く効果が出ますように。

能美市 たゆまま

おふくろの味？

フルタイムで働いているため、時間のないときにレンチンのフライがとても助かっています。小さい頃から生協で育ってきた旦那は「○○ないん。昔からよく食べとってんて」と、まるでおふくろの味のような存在になっているようです。

白山市 Ａｏｉｔｓｕｋｉ

ありがとう

子どもが生まれ子育てをしていると、親のありがたみをひしひしと感じる毎日です。結婚式のときに両親に宛てた手紙で感謝の言葉を伝えましたが、それすら全然気持ちがこもっていなかったと思えるくらい今は感謝の気持ちでいっぱいです。育ててくれてありがとう、孫も私もかわいがってくれてありがとう、何より産んでくれてありがとう。直接伝えるのは恥ずかしいのでコープさんを通して伝えます。ありがとう。

金沢市 ちゅっこ

感謝

２０２１年３月、職人一筋の夫が現役を退きます。結婚当初は毎日のお弁当が悩みの種でしたが、生協さんと出会ってからは楽に、しかもおいしく（と、私は思っている）作り続けることができました。次々とお弁当に使える商品をそろえてくださり感謝しています。そして不平不満を言わず食べ続けてくれた夫にも感謝です。お疲れさま！次のステージを一緒に楽しみながら進みたいね。

加賀市 陽子

金沢市 kikko

テーマトーク 今月は 思い出の先生

四コマ漫画

小学6年生のときの担任の先生は自由学習で私が先生のことを四コマ漫画にしたものを描いて提出したところ上手と褒めてくださいました。前年度の先生に学習帳には勉強をしてきてくださいと注意されていたので褒めてくれたことにビックリ。個性を大切にしてくれた素敵な先生だったなと感謝です。

金沢市 ももんが

先生の励まし

自動車学校に通っていた頃、あまりにも運動神経が悪く、覚えも悪い女子高生でした。補習ばかり受けていて先に進めず大金を補習にあてていました。そのとき先生が「親のこと考えてもう少し真剣に頑張らないとダメやぞ」と言ってくださいました。その励ましのおかげで運転免許がとれました。心にしみる言葉でした。

白山市 さちべい

七尾市 ふうばあちゃん

草笛

小学5・6年生のときの担任の先生。男の先生で、色黒のやさしい先生でした。ときどき、近くの山に連れて行ってくれ、そのときそばの葉っぱをとると唇に当て草笛を吹いてくれました。今ならギターとかでしょうか。

加賀市 いっちゃん

冷飯と数学

高校時代の数学教師の謎の言葉「数学の成績の良い奴は冷飯を食わない」。保温機能のある炊飯器が少ない時代。私の数学の成績が今一つなのは冷飯のせいと思っていましたが、ある日謎の言葉の意味を理解しました。物事は決して後回しにせず、そのときに解決する行動が成果を上げる。数学だけでなくすべての物事に通ずるのだと気づいた高校時代。50余年経った今でも心に残っています。

小松市 でんちゃん

先生の言葉通りに

小学4年生のときの担任だった素敵な女の先生。3月のお別れのときに〝河原で拾った石〟にメッセージを書いて渡してくださいました。「いつまでも素敵な笑顔を忘れずに…」先生の言葉通り、私は笑顔いっぱいの保育士になりました。

金沢市 ゆきん子

次回のテーマトークのお題は「私・わが家のルール」

まど

機関紙モニターによるエッセイ

楽しみな春

書き人 らびっと

毎年、春にチューリップが咲くのが楽しみなので、秋に球根を買い求め植えます。こだわりはなく、そんなに高くないものを20～30球程適当に。

でも、この春咲く予定の球根は娘がこだわって購入し、一緒に昨年秋に植えたものです。常日頃私の適当な性格を反面教師に、娘はきちんとした性格です。植え始める前に、まず添付されていた説明書を読み始めました。「球根3個分の深さに植えます」えっ、知らなかった。そういえば、毎回球根の頭が見えるものが出てきてたっけ。「球根は大水飲みです。雪が降り始めるまで土が乾いたら水をたっぷりあげましょう」えっ、水あげたことなかった。齢57にして初めて知ることがありました。

品種名もいろいろ。プリンセスクラウス、黄小町、ミスティックファンアイク…色の配置も考えて植えたので、花開く頃がだんだん近づいてきて、とても楽しみです。